

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和7年2月21日
札幌市立米里小学校

1 学校教育目標

「かしこい子」	落ち着いて考える子を育てる
「やさしい子」	心豊かで思いやりのある子を育てる
「はたらく子」	責任をもって自ら実行する子を育てる
「たくましい子」	意思が強くて心身共に健康な子を育てる

2 本年度の重点目標

「思い遣りと笑顔があふれる学校」

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	達成状況と改善の方策	評価適切さ	改善策適切さ
重点目標	重点目標は学校の状況や児童の実態からみて適切であり、具体化に向けた取組が行われている	A	<p><教員> <u>A50.0%</u> B44.4% C 5.6% D 0%</p> <p><保護者> <u>A52.1%</u> B44.8% C 2.7% D0.4%</p> <p>★思いやりの気持ちを持ち、明るく笑顔でがんばっていますか。</p> <p><高学年児童> <u>A45.3%</u> B45.9% C 8.7% D 0%</p> <p><低学年児童> <u>A64.6%</u> B28.0% C 6.2% D 1.2%</p> <p>【達成状況】</p> <p>○教員、児童、保護者の三者とも肯定的な評価が <u>9割超えとなった。</u></p> <p>○重点目標「思い遣りと笑顔あふれる学校」については、これまで継続して取り組んでいることが概ね意識できている。</p> <p>○児童アンケートでは、特に「やさしい子」に関する項目で、肯定的な回答の割合が高く、全校の児童が普段から「思い遣り」を意識して生活していることがわかる。</p> <p>【来年度にむけて】</p> <p>◎概ねよい回答であるものの、子どもたちの現状を詳しく把握し、より良く成長できるように教育課程の改善に努める。</p> <p>◎学校全体としては、落ち着きが見える。引き続き、「わかる・できる・楽しい授業」「運動の機会を保障する」「読書の推奨」「一人一人に寄り添ったきめ細かいかわり」等を充実させ、健やかな体と豊かな心の成長に向けて教育活動を進めていく。</p>	A	A
			<p>○責任感や思い遣りがあるのは、とてもよい。</p>		
学校関係者評価委員による意見					
学習	学校でも家でも、自分から進んで学習をしている (学ぶ習慣の定着と環境づくり)	B	<p><教員> A 0.0% B77.8 C22.2% D 0%</p> <p><児童：高学年> <u>A25.0%</u> B33.7% C29.1% D12.2%</p> <p><児童：低学年> <u>A50.3%</u> B34.2% C9.7% D4.9%</p> <p><保護者> <u>A 20.7%</u> B42.1% C29.1% D8.0%</p> <p>【達成状況】</p> <p>△児童の肯定的な評価は、低学年は8割を超えているのに対し、高学年は6割程度。学年が上がると学習内容が難しくなり、学ぶ意欲が下がっていることがわかる。</p>	A	A

指導		<p>△保護者の肯定的な回答も6割程度。 ○授業中は、<u>前向きに参加している</u>様子が見られ、<u>宿題も概ね提出している</u>が、家庭での学習時間や内容を見ると、「<u>進んで</u>」とは言い難い。</p> <p>【改善の方策】 ○ICTを積極的に活用し、<u>全員参加の授業</u>を目指す。 ○研究主題「<u>自己決定できる子</u>」、研究副題「<u>～子どもが主役になる授業を通して～</u>」を目指し、日々の<u>授業改善</u>を意識する。①<u>意欲を引き出す導入部</u> ②<u>意欲を持続させる展開部</u> ③<u>学びを実感する終末部</u> の3つに分けて研究をすることにより、学びに対する意欲を高め、<u>学習への主体的な姿勢</u>を身に付けさせていく。 ○家庭学習の「<u>ぐんぐん</u>」や長期休み中の「<u>課題研究</u>」を推奨し、自己の興味・関心を追求する楽しさを味合わせ、認めることで、自己肯定感・自己有用感を高めていく。</p>			
	評価項目	達成状況	達成状況と改善の方策	評価適切さ	改善策適切さ
学習指導	<p>学んだことを繰り返し復習し、学習内容を理解している (基礎学力の定着…分かる、できる、楽しい授業)</p>	<p>B</p> <p><教員> <u>A 0.0%</u> <u>B 55.6%</u> C 44.4% D 0% <児童：高学年> <u>A 27.3%</u> <u>B 39.0%</u> C 27.3% D 6.4% <児童：低学年> <u>A 49.7%</u> <u>B 30.4%</u> C 14.3% D 5.6% <保護者> <u>A 14.2%</u> <u>B 45.6%</u> C 33.7% D 6.5%</p> <p>【達成状況】 △教員の肯定的評価は5割と低い。低学年児童は8割、高学年児童と保護者の肯定的評価は6割程度となっている。</p> <p>○多くの学級で落ち着いて学ぶ姿が見られており授業中は真面目に取り組んでいる子が多い。<u>しかし、家庭学習の習慣が身に付いておらず、基礎学力が定着していない児童も一定数見られる。</u>中には、学力不振から学習への関心意欲が低下している児童もいる。</p> <p>【改善の方策】 ○<u>タブレット</u>を活用した反復学習などを行い、基礎学力の定着を目指す。 ○宿題や<u>朝のチャレンジ</u>の取組を徹底し、基礎学力の向上を目指すとともに、<u>生活場面における活用問題</u>の指導や家庭学習「ぐんぐん」の取組を促し、主体的に学習に取り組む態度を育成する。 ○<u>家庭学習「ぐんぐん」</u>について、自己目標を設定して取り組ませることで、自分で達成状況を振り返りながら取り組めるようにするとともに、家庭と連携し、学習習慣づくりを進める。</p>	A	A	
学習指導	<p>周りの意見をよく聞き、自分の考えをしっかりと伝えることができる (学びあい…子ども同士が認め合う、言葉を大切にした授業)</p>	<p>B</p> <p><教員> <u>A 5.6%</u> <u>B 72.2%</u> C 22.2% D 0% <児童：高学年> A 30.8% B 39.0% <u>C 24.4%</u> <u>D 5.8%</u> <児童：低学年> <u>A 48.4%</u> <u>B 37.9%</u> C 9.3% D 4.3% <保護者> A 18.0% B 56.3% C 24.5% D 1.1%</p> <p>【達成状況】 △教員の肯定的評価は7割を超えるくらい。児童は、低学年が8割を超えるのに対し、高学年は7割弱。 ○ICTを活用した「<u>協働的な学び</u>」の推進により、周りの意見を基にして考え、それを表現する場面が増えてきた。 △高学年では、<u>自分をあまり表出できていない</u>と感じている児童が3割いることは、発達段階を考慮しても見逃せないと感じる。</p>	A	A	

			<p>【改善の方策】</p> <p>◎学ぶ意欲を継続できるような教材化の工夫を図る。子ども自ら課題を考え、自ら解決しようとする主体性を育み、達成感や充実感をもてるよう、工夫した授業の実践に努める。</p> <p>◎全体の場での発表だけにこだわらず、少人数での交流や ICT を活用も含めた「書く」場面、ネームカードなどで「選ぶ」場面など自分の考えを表出する場면을工夫して作る等、全員参加の授業を目指す。</p>		
学校関係者評価委員による意見	<p>○研究の主題が、「自己決定できる子」というのがすごくよい。自己決定の積み重ねが人生を切り開いていく。幼稚園でも自己決定を大事にしている。来年度の研究授業をぜひ参観したいと思う。</p> <p>○復習の習慣がついていないのは、結局は家庭の問題だと思う。</p> <p>○タブレット（電子機器）ばかりになるのはよくない。辞典や本などで調べる経験もさせてほしい。</p>				
生活指導	<p>周りの人に進んで気持ちのこもった挨拶をしている (学校における基本的な生活習慣・学校のきまり・ベシック)</p>	A	<p><教員> <u>A16.7%</u> B72.2% C 5.6% D5.6%</p> <p><児童：高学年> <u>A51.7%</u> B33.7% C 13.4% D1.2%</p> <p><児童：低学年> <u>A72.0%</u> B21.7% C 5.6% D0.6%</p> <p><保護者> <u>A33.7%</u> B51.0% C14.6% D0.8%</p> <p>【達成状況】</p> <p>○教員と保護者の肯定的な評価は8割を超える。</p> <p>○朝は、多くの児童が挨拶をしている。児童自身も、低学年は9割以上、高学年でも8割5分以上が肯定的な回答をしており、挨拶に自信をもっている様子が見られる。</p> <p>【来年度に向けて】</p> <p>◎今年度は、あいさつに特化して活動したことで、よい結果となった。来年度も代表委員会の挨拶運動や日常的な挨拶指導を継続していくことにより、より気持ちの良い挨拶を進んでできるようにしていく。また、教師からも子どもの目を見て挨拶したり、名前を呼んで挨拶したりすることで、形式的なものではなく、「心のふれあい」「コミュニケーションのきっかけ」としての挨拶になるようにしていく。</p>	A	A
評価項目	達成状況	達成状況と改善の方策		評価適切さ	改善策適切さ
自分の良さを生かし、進んで学年・学級の取組に参加している。(全ての子どもが安心できる安心した学級経営)	A	<p><教員> <u>A44.4%</u> B55.6% C 0% D 0%</p> <p><児童：高学年> <u>A37.8%</u> B37.8% C16.9% D7.6%</p> <p><児童：低学年> <u>A64.0%</u> B29.2% C5.0% D1.9%</p> <p><保護者> <u>A30.7%</u> B61.3% C7.3% D 0.8%</p> <p>【達成状況】</p> <p>○保護者の評価（AB）は、9割を超えるくらいになっている。</p> <p>△低学年に比べ、高学年の評価（AB）は、少し低くなっている。</p> <p>○学年や学級の取組、行事などに進んで取り組む様子が見られる。</p> <p>【来年度に向けて】</p> <p>◎前向きな気持ちをもって、学級の活動や行事等の取組に参加していることがわかる。</p> <p>○今年度は、「ほっとルーム」を作った。不登校傾向の児童や教室にいるのが辛くなった児童が、一時的に過ごすことができ、気持ちを落ち着けて教室に戻っていくことができる子もいる。来年度も、「ほっとルーム」を継続し、子ども達の心理的安全性を担保していきたい。</p>	A	A	
自分の役割に責任をもち、粘り強く取り組んでいる。(自主自立・責任)	A	<p><教員> <u>A 44.4</u> B55.6% C 0% D 0%</p> <p><児童：高学年> <u>A42.4%</u> B39.5% C12.2% D5.8%</p> <p><児童：低学年> <u>A56.5%</u> B31.1% C9.9% D2.5%</p>	A	A	

生活指導	感・勤労奉仕)		<p><保護者> <u>A38.3%</u> <u>B52.9%</u> C8.0% D 0.8%</p> <p>【達成状況】 ○児童の肯定的な評価は、低学年・高学年共に8割を超えている。保護者の肯定的な評価は9割を超えている。 ○教員の肯定的な評価は、100%肯定的となっている。 ○同じく「はたらく子」の「係活動や行事では、めあてをもち、友達と協力して取り組んでいますか？」という項目は、低学年・高学年共に9割が肯定的な回答だった。<u>勤労奉仕の心が育っている</u>ことがわかる。</p> <p>【改善の方策】 ○普段から当番活動や係活動、行事や委員会の活動に、意欲的に取り組んでいる様子が見られる。来年度も、子どもたちの頑張りを価値づけ、さらにいろいろなことに挑戦できるように励ましていきたい。</p>		
	学校関係者評価委員による意見	○挨拶は、家庭で教えるべきことで、学校に教えてもらうことではないと思う。			
家庭・地域	懇談会やお便り、HPなどを通して、教育方針や子どもたちの様子を、学校の取組を分かりやすく伝えている (通信や連絡、HP等を通じた情報の発信)	A	<p><教員> <u>A44.4%</u> <u>B50.6%</u> C 5.6% D 0%</p> <p><保護者> <u>A50.2%</u> <u>B44.8%</u> C 5.9% D0.9%</p> <p>★家の人に学校のことを話したりお知らせを伝えたりしている <高学年児童> <u>A48.8%</u> <u>B27.9%</u> C12.8% D10.5% <低学年児童> <u>A64.6%</u> <u>B24.8%</u> C3.7% D6.8%</p> <p>【達成状況】 ○教員、保護者の評価(A B)は<u>9割5分</u>。</p> <p>【来年度に向けて】 ○昨年度途中からお便りや時間割、緊急のお知らせをを「すぐー」で配信することで、学校からより積極的な情報発信ができるようになった。保護者にお便りや情報が届きやすくなったので、来年度も継続していく。 ○来年度は、<u>保護者との個人懇談の回数を増やし、保護者の願いを早い段階で聞き、子どもの指導に生かしていく</u>ことができるようにする。また、学校での様子をお伝えするのはもちろん、「いじめアンケート」の結果も保護者の顔を見てお話することで、<u>保護者の方により安心していただけるように</u>していく。</p>	A	A
		評価項目	達成状況	達成状況と改善の方策	評価適切さ
	家庭・地域	町内会や保護者、近隣の幼稚園・保育園、小中学校などと連携し、地域や学校の特色を生かした教育活動を進めている (地域町内会や近隣幼保小中学校との連携)	A	<p><教員> <u>A66.7%</u> <u>B27.8%</u> C 5.6% D 0%</p> <p><保護者> <u>A47.1%</u> <u>B44.4%</u> C9.0% D 0.3%</p> <p>★自分の住むまちのことを進んで学び、良さを感じ、地域行事に参加している <児童:高学年> A23.8% B34.9% C26.2% D15.1% <児童:低学年> A52.8% B28.0% C11.2% D8.1%</p> <p>【達成状況】 ○教員、保護者の評価(A B)は<u>9割を超えている</u>。 ○生活科や総合的な学習の時間で、中学校や交番など地域の施設を訪れたり、近隣の幼稚園・保育園の子どもたち、地域の方のゲストティーチャーを招いたり、昨年度に増して、交流の機会を増やしてきた。</p>	A

		<p>【次年度の方向性】</p> <p>◎生活科や総合的な学習の時間、生活単元学習を中心に、地域とのかかわりをもった教育活動を通じて、米里のよさを児童に意識させていく。</p> <p>◎一日入学での新一年生と現一年生の交流や、5年生と年長さんの交流、6年生が中学生のプレゼンを聞きに行く等の活動については、「小一ギャップ」や「中一ギャップ」を埋めるためにも、次年度も続けていきたい。</p> <p>◎<u>町内会や幼保小中と、今まで培ってきた連携を絶やさず、</u>幼稚園・保育園から中学校までの15年間通じて地域で子どもを育てるという意識を進めていく。来年度はコミュニティスクールの実現のために、より一層、菊水・米里地区教育機関連絡会など、活動を推進していくようにする。</p>	
<p>学校関係者評価 委員による意見</p>	<p>○これからもより一層の連携を図っていきたい。</p>		

米里小学校 学校評議員

ご芳名 (_____)